

事業名 持続的な森林経営と地域産業の兼業化による生業（なりわい）の創出

事業概要

災害に対する意識が高まっているエリアにおいて、主に5地域のグループと協働し、長伐期多間伐施業（※）による持続的な森林づくりと、多様な森の活動を融合させた魅力創出を行う。

手段は「自伐型林業」。農林漁業に関心のある移住希望者に対して、自伐型林業のステップアップ（右図参照）を通じて、失われつつある中山間地の一次産業を組み合わせた生業を創出し、森林の価値の最大化と、林業・森づくりと地域産業を兼業する「半林半X」のライフスタイルを作る。

事業開始から現在までの進捗状況

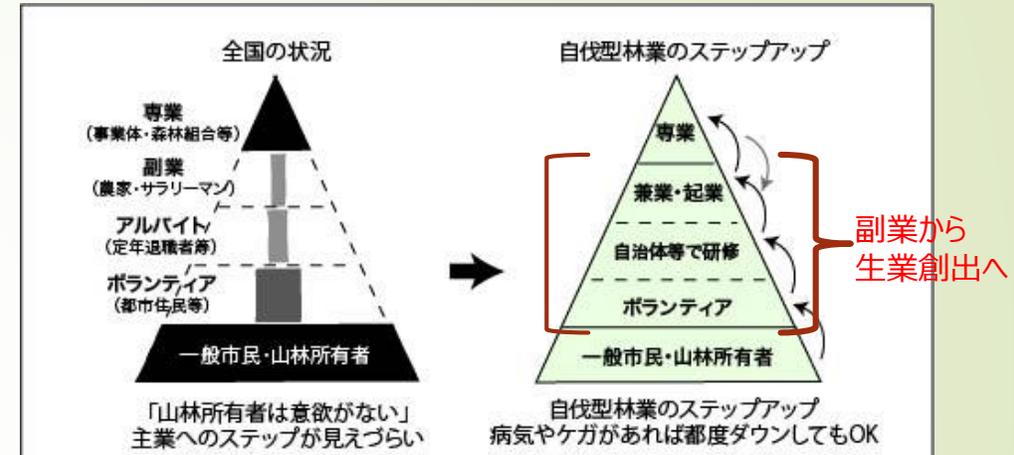
1) 宮城県丸森町では災害勉強会（ワークショップ）を開催。7月22日にフォーラム開催。その後、研修会を開催予定。2) 熊本県球磨川でも同様に開催。3) 千葉県（大多喜町・鴨川市）、4) 群馬県（前橋市）、5) 大分県（日田市）ではグループが自主事業と兼ねて開催準備。そこを起点に、周辺自治体へと展開が広がっている。（右地図参照）

現在抱えている課題

災害が頻発し、ともに活動したいという地域からの要望が多数あり、地域を絞るのが困難。対象地域を拡大し、横展開を加速させたい。

※長伐期多間伐施業…

植林して約50年で全部伐採する「短伐期皆伐施業」に対して、森の成長量を超えない間伐生産（2割以下）を繰り返し、地域に張り付いた森林経営する定住型の施業。



- ①宮城県 →丸森町から周辺地域へ
- ②熊本県 →球磨川流域の多数市町村へ拡大
- ③千葉県 →大多喜町から県へ
- ④群馬県 →前橋市GPが稼働
- ⑤大分県 →日田市の大山林所有者が協業し研修スタート
- さらに…
- ⑥徳島県（台風被害）
- ⑦静岡県（伊豆山土石流）
- 等で機運高まる。